

02 身近に寄り添い 治療をサポート かんごし 看護師

おしえて！看護師のおしごと

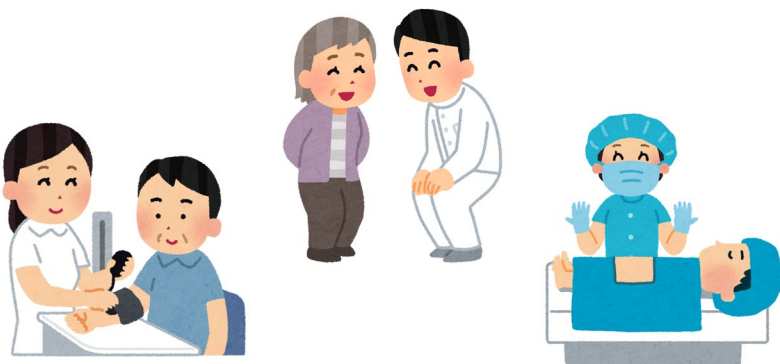
看護師は、医師が行う診療や手術などの治療を手助けして、患者さんの体調の回復に努めます。大きな病院の看護師は、病棟・外来・手術室など担当が分かれており、仕事の内容もちがってきます。

病棟と外来の担当は、患者さんの体温を計ったり医師の診察のサポートをします。入院患者さんの洗面、入浴、排せつ、食事などの手助けもします。手術室の看護師は、手術の準備を整えたり、手術中は執刀医に必要な器具を渡したり、患者さんの容体を見守ったりしています。

身体的なケアだけでなく精神的な痛みや苦しみをやわらげたり、寄り添ってはげますことも看護師のたいせつな仕事です。

人間の生死にかかわる命の現場では、精神的なタフさも求められます。

働く場所は病院や診療所、訪問看護ステーション、市町村、学校、老人保健施設、保育所などあらゆる場で活躍しています。

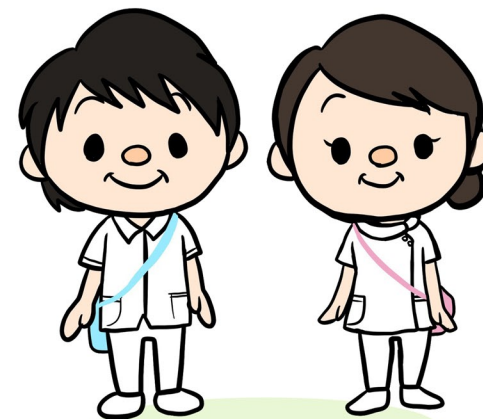


どうすれば看護師になれるの？

高校卒業後、看護大学（4年）、看護専門学校（統合カリキュラム校4年）、看護短期大学（3年）のいずれかに通うことで看護師国家試験の受験資格を得ることができます。

また特定の看護分野で熟練した技術と知識を身につけた認定看護師の資格は日本看護協会の認定看護師認定審査に合格する必要がある、当院では15分野25人の認定看護師が働いています（2021年9月現在）。

さらに、医師の判断を待たずに患者さんの病状を診断し、一定の診療補助を行う特定行為看護師を育成中です。



豆知識

以前は、女性を看護婦、男性を看護士として区別していましたが、2001年「保健婦助産婦看護婦法」が「保健師助産師看護師法」に改定されたことで、2002年3月から男女ともに「看護師」という名称に統一されました。